

# 志教育実践事例

宮城県仙台西高等学校

## ・進路別オリエンテーション

本校は進路多様校である。そのため多様な進路指導が必要であり、生徒に対して各学年で外部担当者を招き進路別オリエンテーションを行っている。特に3学年に於いては、数多くの大学・専各学校担当者を招き、個別相談会を行ってより生徒の進路意識高揚に努めている。また年度末3月中旬には進路の決定した卒業生を招き、「卒業生の進路に学ぶ」と称して、1・2年生対象の講演会を実施している。ただし、今年度においては新型コロナウイルス感染防止の観点から令和2年度に続き進路別オリエンテーションは中止となった。「卒業生の進路に学ぶ」はリモートで実施予定(3月22日)である。

## 「地域との協働」における実践事例

### ・清掃活動

本校近隣には、特別支援学校や医療施設、高齢者福祉施設が存在し、これらの施設に生徒が出向き清掃活動に従事する。開校当初からLHRの時間などを活用し行われているもので、1年生が年1回(今年度は10月21日(水)・5・6・7校時の時間)、クラス毎の割り当てに従って実施している。各施設や地域からも好評であり、生徒が「地域社会」と触れあう貴重な機会ともなっている。しかし、今年度も昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染防止の観点から活動は中止となった。